

地域・保護者の実態	学校教育目標	児童の実態
<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA組織が確立しており、活発に活動している。</li> <li>・青少協を中心に、地域との結びつきが強く、児童の健全育成に向けて取り組んでいる。</li> </ul>	<p>21世紀をたくましく生きる</p> <p>やさしく（心情豊かで 思いやりや感謝の気持ちをもつ子） かしこく（自ら学び、考え、表現する子） たくましく（心身共に健康で 最後まで頑張る子）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素直で明るく、友だちと仲良くできる子が多い。</li> <li>・語彙力がやや乏しく表現力が弱い面がある。</li> </ul>

各教科の重点	学力に関する学校経営方針	道徳教育の重点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な内容の定着を図る。</li> <li>・体験的・問題解決的な学習を充実させ、思考力・判断力・表現力を育成する。</li> <li>・「話す」「聞く」活動の重視と児童相互の学び合い活動を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的内容の定着を図ると共に、習熟・活用・探究型学習を組み込んだ授業づくりを推進と、家庭学習を徹底させ学力の向上を図る。</li> <li>・児童の実態に合わせた学習過程をもとに、一人一人に「できる喜び」「わかる楽しさ」を味わわせ、学習への意欲をもたせる。</li> <li>・指導法の充実・改善に努め、言語活動を豊かにして児童の表現力やコミュニケーション能力を高めると共に、自ら考え、自ら学ぶ児童の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の時間と各教科との関連を重視し、道徳的実践力を育てる。</li> <li>・体験を通して道徳的心情を育成する。</li> <li>・道徳的判断力・規範意識を育成する。</li> </ul>

総合的な学習の時間の重点	生活指導の重点	特別活動の重点	進路指導の重点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題設定力や課題解決力を培う。</li> <li>・人、もの、自然、地域とかがわかる活動を通して、学ぶ意欲を高め、学び方を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつの励行と正しい言葉使いを身に付けさせ、基本的な生活習慣の定着を図る。</li> <li>・いじめ等の問題行動の早期発見、早期対応に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主性・実践力のある児童を育成する。</li> <li>・学校の一員として、自覚を高め、よりよい生活を築こうとする態度を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解と自己実現の意欲を促す。</li> <li>・本物や達人と出会う機会を多くもち、人としての生き方を学ぶ場とする。</li> </ul>

学力向上のための指導の重点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間の授業のねらいの明確化</li> <li>・基礎的・基本的事項の徹底と個に応じた指導の充実</li> <li>・P（計画）・D（実行）・C（評価）・A（改善）サイクルの充実</li> <li>・習熟・活用・探究型授業を意識した指導の工夫</li> <li>・体験的・問題解決的な学習（活動）の意図的・計画的な実施</li> <li>・指導と評価、支援の一体化</li> </ul>	

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成の工夫	校内研修の工夫	評価活動の工夫	家庭・地域との連携
<p>少人数指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・算数について、習熟度別学習の実施</li> <li>・補充・発展学習の工夫</li> </ul> <p>夏季休業中の学習教室の実施</p> <p>ねらいを明確にした授業の実施</p> <p>ピアティーチャー、学生ボランティア、図書館司書、ICT支援員の活用</p> <p>教育ボランティアの積極的導入</p> <p>年間指導計画の見直しと完全実施</p> <p>「東京ベ-シック・ドリル」の活用</p>	<p>朝学習の実施</p> <p>全校朝読書の実施（毎火）</p> <p>授業時数の確保</p> <p>体験的・問題解決的な学習（活動）の重視</p> <p>読書週間の実施（年間2回）</p> <p>ぐんぐんタイムの実施「東京ベ-シック・ドリル」の活用</p>	<p>校内研究の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究実施</li> <li>・「ひとりひとりが安心できる学級集団をめざして」QUの研究を通して承認欲求を高める。そのベースに基礎・基本を確立する。</li> </ul> <p>若手教員の育成</p> <p>学期に2回のOJT研修の計画・推進</p> <p>教員のタブレット研修</p> <p>特別支援教育の全体研修</p>	<p>授業の振り返りの時間の確保（指導と評価と支援の一体化）</p> <p>学校自己評価の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員アンケートの活用</li> <li>・児童アンケートの活用</li> <li>・保護者・地域アンケートの活用</li> </ul> <p>評価規準の活用と見直し</p>	<p>授業改善推進プランの公開</p> <p>家庭学習の定着</p> <p>PTA・地域の方による、全学年への読み聞かせ活動</p> <p>教育ボランティアとしての学習支援</p> <p>保護者と連携した校内整備</p> <p>地域行事の参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭り</li> <li>・ほっこりコンサート</li> <li>・地域運動会等</li> </ul>